

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

コミュニティ推進協議会

事業名	1	健康づくり事業		
事業期間	令和4年4月~令和5年3月			
決算額	61,250円	助成金充当額	50,000円	
事業対象者	全地区民	参加人数	242名	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・小羽山人間ドック(6月と12月に実施) 小学校の体育館で様々な体力測定を行い、数値をデータし、個人の健康維持の参考にしてもらおう。理学療法士と市保健師によりデータを参考にアドバイスをもらおう。延べ120名の参加。 歩こう会(山歩き)毎月一回実施。延べ122名の参加。			
事業目標	・運動・食事等の改善につなげ、生活習慣病を予防する。			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	データ化登録者数を増やす	50人	52人	
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・達成できた。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・健康管理に対して意識を持たれる人が増えてきた。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・小羽山人間ドックは特定の人だけにならないよう、幅広く呼びかけ、新しい人が参加りしてくれるような呼びかけが必要である。また、健康料理教室なども合わせて行ってもおもしろい。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書 (事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

自主防災会

事業名	2	地域防災強化事業		
事業期間	令和4年4月~令和5年3月			
決算額	170,937 円	助成金充当額	150,000 円	
事業対象者	小羽山地区民	参加人数	192人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・ 防災訓練(6月と10月2回実施)6月は小学校運動場において、起震車・AED・消火器・煙幕・土のうの体験、10月はセンター全館を使用し、段ボールベット・スリッパ・AED・水道について・ロープのくくり方・消火器・煙幕の体験を行う。参加者延べ98名の参加。 研修視察(福岡市民防災センター)参加者21名。			
事業目標	・ 広田地区の防災訓練を成功させる。			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	参加者100人	100人	100人	
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・ 防災危機管理課の主導によって進んでいる。連絡網やその他会議により進めていくことが主体となっており、かかわりを持った人は延べ100人をこえた。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・ 防災危機意識に薄い人が多い中、多少ではあるが関心をもたれるようになった。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・ 防災訓練だけでなく、いろいろな面から防災に取り組んでいく必要性を感じる。危機意識を高めるための学習的な取り組みなんかを入れると効果的ではないかと考える。			
自己評価 (3段階評価) 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

小中学校運営協議会

事業名	3	コミュニティスクール活動事業		
事業期間	令和4年4月~令和5年3月			
決算額	0円	助成金充当額	0円	
事業対象者	地区民	参加人数	135人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・地域からの学校支援をしっかりと行い、学校からの地域支援をしっかりと受け入れ、地域づくり・学校づくりに共同する。 ・小学校 地域学習、地域行事への積極的な参加、地区内清掃活動 ・中学校 地区内清掃活動、ジュニアリーダーによる小学生を対象とした「お化け屋敷」、ふるさとまつり行事の企画運営に参画。			
事業目標	地域行事に積極的に参加、参画し地域を盛り上げる。			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	参加・参画数	50人	105人	
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・達成できた			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・小学生にはもっと積極的なアプローチを考える必要があるが、中学生企画に参画させ指導をしていくことで、十分な戦力となるよう感じた。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・小学生は塾やスポ少、習い事などで結構忙しく行事への参加者が少ない。中学生は参画させることにより、若い戦力となる。しっかり共同して取り組みたい。小学生にはしっかりアプローチに工夫したい。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

体育振興会

事業名	4	スポーツ大会事業		
事業期間	令和4年4月~令和5年3月			
決算額	320,793 円	助成金充当額	150,000 円	
事業対象者	地区民	参加人数	196人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・ポッチャ・カロリング・ソフトバレー・ソフトボール大会の開催。 ・市民大会参加費用の拠出 ・道具の購入・修理 ・小羽山コミュニティだよりでのPR記事の作成			
事業目標	・スポレクリエーション大会の参加者の増員			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	スポーツ大会を4回実施	4回	4回	
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・達成できた			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・体を動かす喜びを実感できた。また、競技を通し、いろいろな人とのコミュニケーションがとれた。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・まだまだ参加者が少なく盛り上がり欠ける。PRの方法をもっと工夫したい。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書 (事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

環境衛生連合会

事業名	5	環境美化事業		
事業期間	令和4年4月~令和5年3月			
決算額	157,892 円	助成金充当額	104,000 円	
事業対象者	地区民	参加人数	360人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・ゴミの分別指導 ・地区民参加の「空き缶拾い」活動 ・研修視察			
事業目標	・環境美化の意識の醸成 ・ごみを減らし、資源のリサイクルを考える地域づくり			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	空き缶拾い参加者150人(3回)	150人	158人	
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・達成できた			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・ポイ捨て状態は少なくなっているが、0にはならない。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・今後も地道な活動を続けていくことが大切に思う。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

ふれあい運動推進委員会

事業名	6	青少年の見守り活動事業		
事業期間	令和4年4月~令和5年3月			
決算額	47,530 円	助成金充当額	25,000 円	
事業対象者	地区民	参加人数	50人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・小中高児童・生徒の夜間徘徊、不良行動の見守り活動 ・祭り行事、花火大会の不良行動の見守り活動 ・いじめ問題、DV問題等の相談業務			
事業目標	・青少年の健全育成 ・あいさつ運動の推進			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	地区内の万引き0	0人	0人	
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・達成できた			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・あいさつを通しての、安心・安全な町づくり、そして地域共生社会に向けた活動。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・地域共生社会小羽山モデル地区をめざし、基本的なことから、地道に取り組んでいくことが必要。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

防犯部会

事業名	7	防犯対策事業			
事業期間	令和4年4月~令和5年3月				
決算額	100,148 円	助成金充当額	70,000 円		
事業対象者	地区民	参加人数	85人		
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・防犯パトロールによる犯罪抑止 ・視察研修により、勉強会、情報の共有を図る ・防犯講演会の開催				
事業目標	・年金受給日に金融機関の前でのびら配り、声かけ活動				
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績		
	詐欺被害者ゼロ	0人	0人		
事業効果	(達成できた、又は、できなかった要因) ・達成できた				
今後の課題等	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・防犯意識を高め、詐欺被害者にならないよう注意喚起することができた。				
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか		1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか		1	2	3
	今後も事業継続できますか		1	2	3

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

交通安全部長会

事業名	8	交通安全活動事業		
事業期間	令和4年4月~令和5年3月			
決算額	42,000 円	助成金充当額	42,000 円	
事業対象者	地区民	参加人数	42人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・朝夕の通学児童の見守り ・地区行事開催時の交通誘導 ・交通安全週間時の幟の掲揚			
事業目標	・地区内の交通事故0をめざす			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	歩行者事故0	0人	0人	
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・達成できた			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・交通安全の意識の高揚に役立った			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・住宅地の中の道の交通量が多く、安全をしっかりと訴えていく必要がある。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

小羽山地区連合親寿会

事業名	9	高齢者支援事業		
事業期間	令和4年4月~令和5年3月			
決算額	165,000円	助成金充当額	100,000円	
事業対象者	地区民	参加人数	600人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・地区内の奉仕活動 ・各種サークル活動 ・様々な行事への参加 ・親寿会だよりの発行			
事業目標	・地区内住人との交流機会を増やす。			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	会員数200をめざす	200人	182人	
事業効果	(達成できた、又は、できなかった要因) ・91%の達成。もう少しで達成できた。			
今後の課題等	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・高齢者のコミュニティの場となる。 ・様々な行事に参加されることにより、賑わいが出来、地域に活気がでた。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

コミュニティ推進協議会

事業名	10	ICTソリューション事業			
事業期間	令和4年4月~令和5年3月				
決算額	218,000円		助成金充当額	200,000円	
事業対象者	地区民		参加人数	35人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・ホームページの立ち上げ ・スマホ教室の開催(2回)				
事業目標	デジタル化への興味づけ				
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績		
	スマホ教室参加者の拡大	50人	20人		
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・1対1の個人対応で今回は実施してみた。当然参加された方は十分な理解が得られたものと思う。参加者がおもったほどに多くなく、募集の仕方を考えなければならない。				
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・スマホ教室を行うことで、多少ではあるが、興味付けはできたのではないかと感じる。繰り返しやらなければ効果はなかなかむつかしい。				
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・ホームページを立ち上げることはできたが、これを地区民に見てもらえるようになるまではまだ道のりは長い。腰を据え、時間をかけ、少しずつ前に進めていくことが必要である。				
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか		1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか		1	2	3
	今後も事業継続できますか		1	2	3

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

コミュニティ推進協議会

事業名	11	行事運営事業		
事業期間	令和4年4月~令和5年3月			
決算額	599,122 円		助成金充当額	560,100 円
事業対象者	地区民		参加人数	420人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・老若男女問わず参加できる行事を開催する ・地区内の人材発掘を行う			
事業目標	・地区行事に若い住人の参画			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	参画者10人	10人	18人	
事業効果	(達成できた、又は、できなかった要因) ・ジュニアリーダー等の参画によって達成できた。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・地域の連帯感の醸成や企画のマンネリ化の抑制等、活動に変化が見られた。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・若い年代の人たちを、どのような方法で使っていくか、また、高齢化してきた役員とのマッチングをいかに図っていくか試みが必要である。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3